



山本真希
オルガンリサイタル
シリーズ

巨匠バッハの生涯を大迫力のオルガン演奏と豊富な解説映像でたどるコンサート。<前編>ではバッハ誕生以前に遡り、若きバッハに影響を与えた作品群と初期から中期にかけての名曲を紹介。オーバーホールで生まれ変わったグレンツィングオルガンの響きにもご注目ください。



りゅーとぴあ専属オルガニスト 山本真希 オルガンリサイタルシリーズ

グレンツィングオルガンの魅力 No.24

バッハ <前編>

～ 16世紀のオルガン音楽からバッハ誕生・ワイマール時代まで ～



<p>ジローラモ・フレスコバルディ Girolamo Frescobaldi (1583-1643)</p> <p>ヤン・ピーテルスゾーン・スヴェーリンク Jan Pieterszoon Sweelink (1562-1621)</p> <p>ディートリヒ・ブクステフーデ Dieterich Buxtehude (1637-1707)</p> <p>ヨハン・セバスチャン・バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)</p>	<p>トッカータ集第2巻より Toccatà secondo libro</p> <p>半音階的幻想曲 Fantasia chromatica</p> <p>前奏曲 ホ短調 BuxWV142 Präludium e-moll BuxWV142</p> <p>「オルガン小曲集」より おお人よ、汝の罪の大いなるを嘆け BWV622 Aus dem Orgelbüchlein, O Mensch, bewein' dein' Sünde gross BWV622</p> <p>トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 Toccatà und Fuge d-moll BWV565</p>
--	---

オルガン／山本真希
(りゅーとぴあ専属オルガニスト)

ほか



スクリーン
投影による
解説つき!



2018年 **3月21日**(水・祝) **15:00**開演 (14:30開場)
りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

■チケット | ￥2,000 全席自由

■チケット発売日 | N-PAC mate (友の会) 先行11月24日(金)・一般11月25日(土)

■チケット取り扱い | 新潟伊勢丹/文信堂CoCoLo万代/セブン-イレブン(セブンチケット<http://7ticket.jp/>) / りゅーとぴあ
りゅーとぴあオンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

■チケットのお申込み、お問い合わせ | りゅーとぴあチケット専用ダイヤル025-224-5521 (11:00～19:00 休館日は除く)

 りゅーとぴあ
新潟市民芸術文化会館

主催/公益財団法人新潟市芸術文化振興財団
企画制作/りゅーとぴあ事業企画部

リサイタルによせて

16世紀以降、オルガンは時代や国、地域によって独特の個性を備えて製作されるようになり、民族色豊かに発展していきました。

オルガンが一つの個性を持つ楽器として最初に完成されたのは、16世紀のイタリアでした。1段鍵盤のイタリア・ルネサンス様式のオルガンは、朗々とよく歌うまろやかな音色が特徴です。一方ネーデルランドでは、古くから2段の鍵盤を持つ楽器が製作されていました。音響の充実した大オルガンと、演奏者の背後に置かれたリュック・ポジティブの音色の対比で豊かな音楽表現が可能です。豪華絢爛な装飾、水平トランペットに代表されるリード管が大きな特徴となったのはスペインのオルガン。フランスのオルガンの発展は少し遅れて17世紀に入ってからのことで、倍音ストップやリード管が発達し、音色の組み合わせの多様性は他の国には見られないほど多彩です。

各国で彩り豊かなオルガン音楽が栄えた頃、ドイツはまだ文化的に大変立ち遅れており、他国に匹敵するようなオルガニストは存在しませんでした。文化後進国だったドイツが、その遅れを取り戻すかのようなすさまじい勢いで発展を遂げたのは17世紀以降のことです。数多くの優れたオルガニストが輩出され、各国の伝統を吸収し、自国の文化と融合させた独自の音楽を打ち出したドイツのオルガン音楽は、北と南で全く異なるスタイルが育まれました。バッハはその南北両ドイツの伝統を汲み、他国の音楽と合わせて独自の世界を示し、後世の人々にも大きな影響を与えた人物です。

リサイタルでは、南北の双璧と謳われたイタリアのフレスコバルディやネーデルランドのスヴェーリンクをはじめ、黄金期を象徴するイベリア半島の作品、若き日のバッハに直に大きな影響を与えた北の巨匠クステフエデの作品、そして各国の伝統を総括したバッハの珠玉作品をご紹介します。

15世紀後半から18世紀前半の約200年のこの時期、オルガン音楽はまさに百花繚乱、膨大な数のオルガニストと国と時代による楽器や音楽スタイルの違い、内容の豊かさは他のどの時代にも及びません。バッハに至る伝統がいかに深く、豊かなものだったか、その源泉と歴史を名曲とともに

山本 真希



■プロフィール オルガン 山本 真希 (やまもと まき)

神戸女学院大学音楽学部、同大学専攻科卒業後、渡独。ドイツ、フライブルク、シュトゥットガルト、フランス、ストラスブールで学ぶ。オルガンを井上圭子、Z. サットマリー、J. ラウクヴィック、C. マントゥーの各氏に師事。第1回ドイツ・ランドウスベルク国際オルガンコンクール第3位。日本各地、ドイツ、ポーランド、オーストリア、チェコ、イタリアで演奏会を開いている。2006年4月、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館専属オルガニストに就任。ソロCD「グレンツィング・オルガンの魅力No.1」、東京交響楽団との共演による「サン＝サーンス／オルガン交響曲第3番」のライブ録音CDをリリース。大阪、相愛大学音楽学部オルガン科非常勤講師。

全席自由席の こだわり

りゅーとびあオルガン公演は全席自由席。1階は天上から降り注ぐような柔らかな音に包まれ、2階はオーケストラにも似た迫力ある音響が得られます。3階席はパイプと同じ高さにあるため、非常にクリアで立体的なサウンドを堪能出来るのが魅力です。あなただけのお気に入り席で聴くか。さらによい席を求めてトライするか。各人各様、ご自由にオルガンの響きをお楽しみください。(※一部お入りいただけない席もございます。)

オルガンリサイタル シリーズについて

りゅーとびあ専属オルガニスト・山本真希が、りゅーとびあでしか聴けない本格的なオルガンリサイタルを個性的なテーマとともに贈ります。スクリーン投影による解説とあわせてお楽しみください。



次回公演のご案内

山本真希オルガンリサイタルシリーズ No.25

バッハ <後編> ～ケーテン、ライブツィヒ時代～

- 日程：2018年11月10日(土) 予定
- 会場：りゅーとびあ コンサートホール
- 演奏曲：J.S.バッハ／
幻想曲とフーガト短調 BWV542 他

サポートシステムのご案内

- お申込み先／りゅーとびあチケット専用ダイヤル025-224-5521
- 託児サービス／
対象：生後6ヶ月以上～小学校2年生まで
託児料：未就学児／1人1,000円 小学1・2年生／1人1,500円
*公演日の2週間前までにお申込みください。定員になりしだい締切らせていただきます。
*公演日前1週間を過ぎてのキャンセルは託児料金と同額のキャンセル料が発生します。
- 難聴者赤外線補聴システム／あらかじめお申込みください。

チケット購入の際のご注意

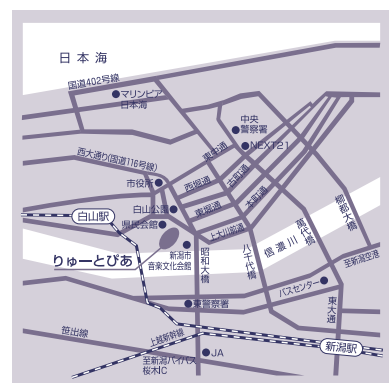
- ・コンサートの性格上、未就学児の同伴はお断りしております。また小学生以上の方はすべてチケットが必要です。
- ・お買い上げいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。
- ・やむをえない事情により内容、出演者等が変更されることがあります。
- ・車椅子席はチケット購入時にお申し出ください。りゅーとびあのみで取り扱います。

会館のご案内

- 新潟駅万代口より車で15分
- 関越自動車道／
磐越自動車道新潟中央I.C.より車で20分
- 新潟駅万代口よりバスで15分～20分
萬代橋ライン(BRT)青山方面行
「市役所前」下車徒歩5分
- 新潟空港より車で30分

白山公園駐車場のご案内

- 白山公園駐車場A、B、C、D合わせて約580台
※障害者用駐車場スペースを用意しております。
※りゅーとびあには専用の駐車場がありません。
なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車は白山公園駐車場(有料30分100円)をご利用いただけますが、混雑する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



駐車料金のお支払いは、プリペイドカードがたいへん便利でお得です。2,000円のカードで3,000円分駐車場をご利用いただけます。りゅーとびあ2Fの自動販売機でお買い求めください。